面會拒絶理由

第三者の調停を飽まで拒絶する三菱の態度に批難の聲

調停聲明の有吉知事談

有吉知事が三菱造船所の職工三菱側と勞資協調會の調停を以て絶した事に關し阪本勞働部長は左の如く談話を發表した

五日　友愛會の幹部員が三菱職工と共に質問ありと稱して二十四五名知事官邸に押かけ面會を強ひんとしたが知事は此際を退かざる態度を示したので此等の人々を應接室に招致其の內の六人に面會した

其內　容は記者諸君に御話しして置いたが知事は東京から來た友愛會の幹部員や三菱川崎の職工ならざる者には面談する必要がないから速はぬ迄で職工が相當な順序によつて相談に來るなら都合のつく限り面會される

現に　三菱の一部職工の請ひを容れて穩健されたと同樣他の職工に對しても無關心では居ないのである、誤解を防ぐ爲め一言して置く」と

市長三菱代表會見

其內容は嚴秘に附さる

會見三十分、頗る緊張

爰にも解決機運大きく動く

有吉知事起つて三菱爭議に調停の手を染むるの聲明で五日は爭議團代表の某氏（特に名）が突如として姿を現し直に

別室で　木村社會課長と會見密談數分にして辭去したるも同課は早速市長室に永田土岐兩助役列席の上市長と新たに爭議團側も代表者の善後策を凝らしたが前記の某氏來訪は三菱爭議團最高幹部が爭議の解決方に關し櫻井市長に意見を開陳したいと云ふのであつた、仍て

市當局　は會議の結果有吉知事にも電話通報し午前十一時會見承諾の旨を爭議團に返答するや爭議團からは會見時間を午後零時半にして貰ひたいとの回答があつたので櫻井市長は午後の定刻市長室に納まり記者團で待ち受けてゐるや約束時をズーツと遲れ午後二時過ぎ爭議團幹部の

造船部　代表安井某二議終熄に就き市長の勸起を懇請すると切であつたが市長は明かに回答するを避け先方の意見のみを默つて聽取したさ

列席さ　せ市長室で午前十一時政友會も亦其關係上列なつたが會談の內容は爭議解決を速かならしむる爲め特に嚴秘に附することになつた、ソシテ會見は卅分で終り午後二時一同は辭去したが頗る緊張した會見し、市側も仲裁側も眞劍な態度で

代表者　は解決の一日も早からん事を望み櫻井市長が代表者の說く所を深く考慮し一刻も早く何分の答へを與へんとの事なるも市長は直に腰を上げて某所へ向ふなど市廳舍內色めき立つた如き爰にも解決の機運が大きく動いてゐる事は云ふ迄も無い

市長勸起愈〻　基督教會親和會尚市長は知事官邸前午後二時基督教會親和會の人々六名と市長應接室で會見した、親和會の人々は爭議終熄に就き市長の勸起を懇請するや切であつたが市長は明かに回答するを避け先方の意見のみを默つて聽取したさ

大審院から拔劍問題や人權蹂躙問題の調査に

小山次席檢事急遽來神す

大審院次席檢事小山松吉氏は六日の午前十時頃大阪控訴院の松嶋院長ないよ〻ニロを喋して居らないが裁判所正廳に入り終始聞く所に依れば警官の拔劍亂暴問題や人權蹂躙問題が世論を沸騰せしめ當地に東京法曹會の調査を要望するに至つたので大審院としても捨て置く譯にも行かず是が調査に來神したのである。

勞働爭議と讀者

眞の勞働爭議

アドバイザー

川崎、三菱兩造船所の爭議は七月十三日に始まり神戶の勞働爭議は二十日に始まり其の後の勞働爭議は續發し、其の數は實に二十數件の多きに達した。

此等の爭議は何れも其の基金も亦僅少なれば團結も薄弱であつたが、其の力強く共有の目的につき十分なる自覺と具ふるものゝ如し從來日本の勞働爭議は平均四日間にて終熄し一週以上に渉りたるものは稀なるに微して神戶の勞働爭議は最有意味の者たる失はず基金なくては自滅の恐あるも罷業者は結束の新組織を成せり即ち單純なる罷業戰とは明確に區別さるべきものありて眞の勞働爭議とは利益分配の誠實なる要求を立てゝ之を不可能なるや利益均霑法は能率を制限し作業を確實ならしむるや知らずや而して衆等罷業者の所謂工場管理は歐洲シンヂカリストのそれの如く意義的計劃に非ずして勞資双方の利益たるべき計劃たり勞資協調主義に依つて實現すべく之を承認するは吳際の必要なり（下略）

神戶市長に望む

中野生

元來神戶市の如き發展者士中の士と後の世までも傳はるべき播州赤穗の義士の精神を以て迎へ込みたる市民の氣風なれば市長の人物は最も力強く共有の目的につき十分なる自覺と具ふるものゝ如し從來日本の罷業は平均四日間にて終熄し一週以上に渉りたるものは稀なるに微して神戶の勞働爭議は最有意味の者たる失はず基金なくては自滅の恐あるも罷業者は結束の新組織を成せり即ち單純なる罷業戰とは明確に區別さるべきものありて眞の勞働爭議とは利益分配の誠實なる要求を立てゝ之を不可能なるや利益均霑法は能率を制限し作業を確實ならしむるや知らずや而して衆等罷業者の所謂工場管理は歐洲シンヂカリストのそれの如く意義的計劃に非ずして勞資双方の利益たるべき計劃たり勞資協調主義に依つて實現すべく之を承認するは吳際の必要なり（下略）

全市民に告ぐ

一職工

賢明なる市民諸君兄等は五日の此機に於て傲慢不遜の態度なして如何なる感じが致しましたか之を投書せられた者は會社に技師たり職長たりに知人があつて其者から聞いた事や其他に投書せられた事を想ふ

十年何ヶ月に二千八百圓の退職手當云々は突飛な解釋した特別の手當と想ふ其手當なけれ時委員は日く此解職手當は今迄の其より非常に多額であります が今度會社の內定でありますから吾々は必要なし私は市民諸士に特に百ふ今迄不職工にて十年勤續死亡者に千圓と云ふ多額なるを下附した事は

第千圓の配當を與へたなど此一事を見ても今迄の會社は上に厚く下に薄きを痛知されるであらう吾々職工にして五六年乃至十年位の勤續者にして十五六圓二十圓の賞與を受けた者で一万數千人の內何人あるか恐らく五指を以て數へ得るであらう私は三年餘に渉つて勤續者や傷痍者の爲めに聽いたのである永き虐待に起つたのである

今の一部の技師は吾々職工の前に百ふ職工は路傍の草である から平素優遇する必要ない吾平素は疎隔もも差支ない扨しくなれば使用人へ呼れば何程も生へて來るなど何と云ふ傲慢な取扱しありませう——斯の如き虐待にも甘んじて工事を續けて居るのに突然資職隊が現れ流血の慘を見て吾々は堪忍袋が一時に爆發したのである

師々々と云ふが二三の　にて數万の勞働者を操る如き事ないと信ず若し又一部の人は

我力の神戶市が彼れ市長の勤告文を一讀して何等反應無きは市長の不誠意を表示するものに外ならず今後市長の態度なして墓下に永眠せる大石某雄なして呵々大笑せしめ市民なして城開け渡しの要求をせしむるに至らさらん事を望む